

# 編集室

\* 今年6月から廣瀬編集特別幹事の後任としてエレクトロニクス分野の編集特別幹事を務めさせて頂いております、どうかよろしくお願い致します。会誌では2000年から2年間、会誌編集委員を務めたことがあります。編集特別幹事となって久しぶりの機械振興会館での会誌編集委員会に出席し、また改めて学会の会誌・ホームページをじっくり拝見して、10数年の間にいろいろなことが大きく変わったな、との感慨を持ちました。

\* 機械振興会館には研究会などでも時々訪れますが、今回改めて思ったのは神谷町駅から会館までの間がずいぶんと変わっていることです。きれいなオランダヒルズ森タワーができ、いつか行きたいと思っていたロシア料理店「ヴォルガ」がいつの間になくなってマンションになっていました。今回教えてもらったのですが、神谷町駅から会館までオランダヒルズを抜ける近道ができたのですね。東京タワーは相変わらずそびえ立っていますが、東京スカイツリーに主役の座を取られてしまいました。

\* 今まで余りじっくり見ていなかったのですが、学会のホームページの充実には驚かされました。電子情報通信学会なのですから当然と言えば当然ですが、会誌の記事も最近のものは電子化されていて、過去のものも創刊号からDVD化されています。会誌の構成自体は余り変わっていないようですが、最近の会誌記事を2000年頃のものとは見比べてみると、最近では異分野技術のクロスオーバーが進んでいるように見受けられます。クロスオーバーにより古い技術が新たに注目されることもありまますので、温故知新として過去の会誌記事にも注目してはどうでしょうか。私は早速DVDを注文しました。

\* 今回の特集「最新テラヘルツ技術と実用化に向けた取組み」は、前任の廣瀬幹事が中心となって企画されたものです。記事にあるとおり、テラヘルツ波は光波が透過できない種々の物質を透過して計測やイメージングが可能といった特性から様々な用途への適用が期待され、実用化も開始され始めている注目の技術です。これはまさにエレクトロニクスとフォトンクスとのクロスオーバーと言えるのではないのでしょうか。今回の特集が会員の皆様の研究開発の一助となれば幸いです。

(編集特別幹事 山下真司)

## 平成26年12月号小特集予定目次

### 「再びやってくるぞ、東京オリンピック・パラリンピック——半世紀にわたる電子情報通信技術の成長と将来展望——」

- 小特集編集にあたって.....編集チームリーダー 大山貴晴
1. オリンピックとともに進化・発展するテレビ放送.....栗田泰市郎
  2. 東京オリンピックと我が国の衛星通信研究開発の50年.....飯田尚志
  3. リアルタイムデータ処理.....竹下 亨
  4. スポーツ競技における計時技術の発展と展望.....織田一朗
  5. 全ての人が好きなスポーツをする社会へ.....伊藤数子
  6. 日本におけるピクトグラムの活用とその方法.....井上智義
  7. バリアフリーを中心とした社会インフラ整備と東京オリンピック・パラリンピック.....秋山哲男 別府知哉
  8. 東海道新幹線の成長と進化、そしてリニア中央新幹線へ.....岡嶋達也

### 「『フカシギの数え方』から広がるアルゴリズムの理工学——二分決定グラフによる離散構造処理と広がる応用分野——」

- 小特集編集にあたって.....編集チームリーダー 麻生英樹
1. 二分決定グラフによる離散構造処理の概観.....湊 真一
  2. 文字列の圧縮列挙索引技術とパターン照合技術.....伝住周平 有村博紀 定兼邦彦
  3. 順列の圧縮列挙索引化とソーティング.....川原 純 湊 真一
  4. グラフ列挙と電力網解析.....井上 武 安田宜仁 津田宏治
  5. 超大規模なグラフ構造の効率的な処理技術.....戸田貴久 竹内聖悟 美添一樹
  6. 極大クリーク列挙技術のビジネス応用とソフトウェアツール.....羽室行信 植野 剛 鷲尾 隆